

第25回記念大会

2024 3/16-3/17

日本スポーツ人類学会

於：鳥取大学鳥取キャンパス

シンポジウム

応援団のミライ

～応援団という近代日本文化を考える～

シンポジスト：

1. 筒井 京（香川県教育委員会事務局 高校教育課）
2. 橋井 哲朗（鳥取県立米子西高校 教頭）
3. 丹羽 典生（国立民族学博物館 教授）

司会・ファシリテーター：瀬戸 邦弘（鳥取大学 准教授）

明治期に端を発する応援団は、学校という近代空間のアイデンティティ醸成に深く関与してきた。一方で、昔ながらに受け継がれる彼らの世界は、時に「時代錯誤」とも評され、さまざまに注目されてきたところである。この令和の御代を迎えたこの国において、彼らが護り、そして求め続けるものはどのようなものだろうか。応援とは、応援団とは何か。その根源とミライについて考える。

記念基調講演

寒川 恒夫（静岡産業大学特任教授/早稲田大学名誉教授）

「明治の「からだ」：

エスノサイエンス身体論からサイエンス身体論へ」



日本スポーツ人類学会第25回記念大会事務局

〒680-8550 鳥取市湖山南4-101

鳥取大学 高等開発教育センター 瀬戸邦弘 研究室

E-mail : supojin25kinen@gmail.com

後援：国立大学法人鳥取大学